

trans_

2019-2020

今年をサポート・プログラムでは、世界4つの国と地域から4名の若手アーティストが秋吉台国際芸術村に招かれ、65日間にわたる滞在中、山口県の実環境、文化、地域に住む人々との出会いの中で、「この土地とともに生きる」をテーマに制作を行いました。展覧会では、その成果を発表します。また、協定機関である台北国際芸術村に派遣された日本人アーティストによる成果報告展も同時開催します。



Stef Veldhuis

ステフ・フェルトハイイス [オランダ/作曲]

20個の異なる視覚作品から成る「ある山に関する20の見解」という作品制作に取り組んでいます。生物学や地質学、精神や文化的な側面の研究を通して、これらの作品は最終的に一つの山の三次元的な概念を創造していきます。

◎プロフィール/オランダ・ユトレヒトを拠点に活動する作曲家。学問分野が垣根を越えて集まることで本物の革新が起こると考えており、科学者、振付師、哲学者、写真家と協働するなど多角的な視点を作品に取り込んでいる。近年、水温・塩分濃度・水の動きなどの海洋データから弦楽四重奏の楽曲を手がけるプロジェクト「Music by Oceans(海洋による音楽)」を実施。人類が引き起こした気候変動の結果として海洋が直面している様々な問題への関心を高めることを目的としている。



Tomoyuki Ueno

上野 友幸 [日本/彫刻、インスタレーション]

この1年、私は大理石の模様と雲の写真を組み合わせさせたSky Sculptureシリーズを制作してきました。秋吉台では地元の大理石と空の写真を合わせることで、美祿市の自然や歴史を作品として残したいと思います。また、化石を彫刻素材にし、自然の形態と人が作り出した形態とを対比させることで、作るということの原点に向かいます。

◎プロフィール/1982年、神戸生まれ。東京芸術大学大学院先端芸術表現修士課程修了後の2008年に渡独。ベルリン芸術大学に編入し、アート・アンド・メディアクラスのマスター課程を修了した。2017年よりクンストラーハウス・ベタニエンでの1年間のレジデンスに参加。日常的に存在するものの形態やイメージと歴史的な彫刻的構造や絵画的イメージを対峙又はミックスさせることで、芸術にリアリティを与え、イメージや彫刻が認識に与える原理、特性について探求している。



Peng Yi-Hsuan

パン・イー・シュアン [台湾/絵画、ビデオアート、彫刻]

太陽は、洞窟の中で誕生し、洞窟の中で死んでいく。「天然記念物:for.gif」は、地域の神話から情報を集め、人間・火や水の元素・洞窟の相互関係を探求する作品です。記念物というシンボルを通して、保存の意味について考察していきます。

◎プロフィール/1990年、台湾・中壢区生まれ。国立台南芸術大学の造形芸術研究所修士課程を修了。長いあいだ、絵画、ビデオアート、彫刻を、スペキュラティブ・アートの命題を提示するものと捉えてきた。つまり、日常にあるものはこの芸術上の命題に直接触れることができ、さらには弁証法のような方法で本来の文脈から切り離すことができる。それは、台湾に中立的なもの歴史を作り出す試みや、新たな視点や使用法、実践システムを示す試みにより可能となる。



Ng Hui Hsien

ウン・ホイ・シェン [シンガポール/写真]

「神話」は、採取した有機物と暗室における即興のテクニックを使って制作するユニークな写真のシリーズ作品です。この作品は、相互接続性を探求し、生命の基礎を形成する神秘的な現象の瞑想録でもあります。

◎プロフィール/アーティスト、ライター、リサーチャー。写真を使い、意識、実在の本質、物質性/非物質性、相互接続性などのテーマを探求する。アイスランドのレイキャビク写真美術館での個展をはじめ、国際機関や芸術祭での展示歴多数。アーティストブック「The Weight of Air(空気の重さ)」は、日本のリマインダーズ・フォトグラフィ・ストロング・ホールから配本され、ニューヨーク公共図書館、ギリシャ写真センター、オーストラリアのアジア太平洋写真集アーカイブなどに収蔵されている。

【同時開催】

日本人アーティスト海外派遣成果報告展



Tsuyoshi Anzai

安西 剛 [派遣先:台北国際芸術村]

1987年生。2009年東京芸術大学音楽学部音楽環境創造科卒業。2011年同大学大学院映像研究科修了。国内外数多くの展覧会やレジデンスプログラムに参加しており、2015年にはヒューストン美術館のプログラムのために1年半アメリカに滞在。近年はプラスチックの背景にある石油産業や環境問題と向き合っている。今回の秋吉台国際芸術村海外派遣プログラムでは台湾の海岸でプラスチック片を収集し、新作「Artifact」を制作した。

◎展覧会(すべて入場無料)

制作テーマ:「この土地とともに生きる」Live Together with This Land

会期:2020年3月1日(日)~3月8日(日) 10:00~17:00

【同時開催】日本人アーティスト海外派遣成果報告展

EVENT

◎オープニング・レセプション

展覧会の開催に先立ち、ギャラリートークと交流会を行います。ギャラリートークではアーティストが作品を解説します。

2020年2月29日(土) 17:30 受付

18:00 ギャラリーツアー(参加無料)

19:00 交流会(軽食・ドリンク付) 会費制:一般1,000円、学生500円

[主催] 公益財団法人山口きらめき財団 秋吉台国際芸術村

[後援] 山口県、山口県教育委員会、美祿市、美祿市教育委員会、山口県文化連盟、台北駐福岡経済文化弁事処、シンガポール共和国大使館、オランダ王国大使館

[協定機関] 台北国際芸術村、Grey Projects

AKIYOSHIDAI INTERNATIONAL ART VILLAGE

秋吉台国際芸術村

〒754-0511 山口県美祿市秋芳町秋吉50
TEL: 0837-63-0020 FAX: 0837-63-0021
ウェブサイト: <https://aiav.jp>
レジデンスに関するお問い合わせ先:
e-mail: air_aiav@aiav.jp

■交通アクセス

- ・山口宇部空港から車で約1時間
- ・中国自動車道美祿ICから車で15分
- ・中国自動車道小郡ICから車で30分
- ・JR新山口駅から車で40分
- ・小郡萩道路秋吉台ICから車で5分
- ・JR新山口駅から東萩行きバスで
- ・大田中央バス停下車、タクシーで5分
- ・JR新山口駅から秋芳洞行きバスで
- ・秋芳洞バス停下車、タクシーで5分



What's happening at AIAV now?

Facebookにてイベント情報やレジデンスの様子を随時アップデートしています。QRコードよりアクセスできます。

<https://www.facebook.com/aiav.jp>

https://twitter.com/aiav_japan

